

5.地域・社会貢献人材育成コース

研修講師



京都府立大学 公共政策学部
公共政策学科 教授

桂 明宏 氏



京都府立大学 公共政策学部
福祉社会学科 教授

中村 佐織 氏

京都府立大学 公共政策学部
福祉社会学科 准教授

朝田 佳尚 氏

京都府立大学 公共政策学部
福祉社会学科 准教授

山口 敬子 氏 他1名

研修趣旨・受講目的

少子高齢化が加速する状況の中で、自身の職場だけでなく、地域に生活する住民の一人として地域を理解し、地域を活性化させる一翼を担う人材を育成します。

求める受講生

地域の活性化や社会貢献活動に関心があり、本コースを通じて得た知識・多様性への理解を職場や地域で実践していきたい方の参加を期待します。

このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

職場や地域で多様な人を理解する広い視点を得るとともに、具体的に地域で活動できる方法や役割を獲得する方法を理解します。

- ①職場に勤めながら、地域貢献できる高齢者、児童、障害者などの「見守り」に関するボランティア活動（そのための養成講座に結びつける方法）
- ②退職後のゆとりある地域生活と地域活動参加への導きの方法

	日時	内容	講師
1	7月1日(金) 14:00-16:00	地域を取り巻く社会情勢 人口減少や少子高齢化、市民参加など地域を取り巻く社会情勢を理解し、住民として取り組むべき課題や役割を整理する。	公共政策学科 教員
2	7月13日(水) 14:00-16:30	地域課題とその変化を促す活動事例 第1回の統計や資料を中心とした地域の実情理解をふまえ、第2回では高齢、児童、障害に関連する実践事例から地域課題の現実と対応する活動を理解する。	福祉社会学科 朝田先生
3	7月27日(水) 14:00-16:30	地域貢献可能な資格等の確認と活動の可能性 地域でのボランティア活動やそれに関連する資格等について理解し、地域における活動の実践例を知ることで、地域参加（地域のさまざまな福祉問題に対する具体的にかかわること）の方法について考えていく。	福祉社会学科 山口先生
4	7月下旬～ 8月上旬の土日 終日	農山村へのUターンを考える 定年後にふるさとの農山村にUターンをする人やUターンで田舎暮らしを始める人が増えている。農山村で生活することの楽しみ・生き甲斐とともに、農山村社会で暮らしていく際の注意点を先輩移住者の方からお聞きし、自己実現をはかりながら農山村の地域社会で摩擦なく暮らしていく方法を考える。	公共政策学科 桂先生
5	8月24日(水) 14:00-16:00	総括 グループワーク等によるまとめ（地域貢献の課題と自身の役割）さらにはボランティアを意識して資格取得の挑戦への方向づけなどを確認し、明日から地域貢献を可能にする。	福祉社会学科 中村先生

研修会場 京都経済センター（一部課外実習あり）

このコースで目指す姿・修了後のあり方

研修受講後からの人への理解、さらには職場や地域のなかでの人権を意識した地域社会貢献活動を可能にします。

定員 15名